I 魅力ある雇用をつくる

1

事	 業 名	,	産業プラザ運営事業		決算額	36,388 千円
尹	未	1	佐来ノノリ 連呂 争未	\$	所管課	商工課
	財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一船	党 36.388 手円

[主な事業内容と成果]

(一社)産業サポート白河を産業プラザの指定管理者として指定し、企業訪問、関係機関とのネットワーク形成などの産業振興業務及び中小企業等在職者等に対する人材育成及び起業家支援等の各種事業を実施した。

事業名	事業成果
企業訪問·相談 事業	・県南地域の企業を訪問し、企業情報を収集するとともに、各企業が抱える課題解決に向けた各種支援を行った。(合計:2,082件 うち来所相談件数:198件 訪問件数:1,405件 電話・メール等:479件)
取引あっせん 事業	・地域内での企業間取引を活性化するため、取引の仲介を行った。 (相談件数:64件 うち成功:58件、不成功:6件)
人材育成事業	・しらかわものづくり講習会(全13講座26日間実施、のべ参加者数:151人)・小中学生向けものづくり体験事業、ロボットプログラミング教室の開催
起業家支援事業	・インキュベーションマネジャーの資格を有する相談員による、起業・創業希望者への支援を行った。(セミナー、交流会の開催)



【取引あっせん】



【プログラミング教室】

2

-	事 業	名		小規模企業支援資金融資制度事業		決算額 所管課	425 商工課	千円
	財源内訳		国県	fm 市債	千円 その他	_	一 42	425 千円

[主な事業内容と成果]

商工会議所・商工会の経営指導員による経営指導を原則6ヵ月以上受けているなど一定の要件を満たすことで、日本政策金融公庫から資金を無担保・無保証人・低金利で融資を受けられる制度(小規模事業者経営改善資金制度)を利用する企業が負担する利子の一部を補填することで地域企業の活性化を促進した。

○小規模事業者経営改善資金利子補給補助金

(12件、425,000円)

<内訳>

白河商工会議所 12件

3

事	業名	3 サテライトオフィスを活用した雇用創出・移住促進事業	決算額	16,906 千円		
3	未 4	' '	リノノイマノイクを伯用しに雇用利山*移住促進事業			商工課
	財源内訳	国県	3,964 千円 市債	FF その他	千円	一般 12,942 千円

[主な事業内容と成果]

令和3年10月にオープンしたサテライトオフィス&コワーキングスペース「ラ・クリエーションプラス」への企業誘致と伴走支援を行うとともに、サテライトオフィス入居企業と地元企業とのビジネスマッチング支援を実施した。

事業名	事業成果
サテライトオフィ ス企業誘致・起 業創業支援事業	(一社)産業サポート白河に委託し、サテライトオフィス及びコワーキングスペースへ首都圏からの企業を誘致するにあたり、市の誘致活動支援や誘致企業のスタートアップ支援などの伴走型支援を行うとともに、誘致企業と地元企業とのビジネスマッチングによる新規事業の創出や人材確保支援を行う体制を整備した。・サテライトオフィス入居企業数:4室中3社入居・コワーキングスペース利用者数:のべ133人(令和4年3月末時点)
サテライトオフィス等誘致支援事業	サテライトオフィスへの企業誘致に関する専門的なノウハウやネットワークを有する(株)あわえに委託し、誘致戦略の策定、プレゼン資料及びPR冊子等の作成を行った。また、地方進出検討企業とのマッチングイベント及び商談会に参加し、企業誘致に向けた交渉を行った。 ・マッチングイベント:令和3年11月25日(木)、令和4年2月2日(水) ・商談会:令和3年12月8日(水)~9日(木)、令和4年2月16日(水)~17日(木)



【サテライトオフィス】



【コワーキングスペース】

事業	娄 夕	:	企業立地将品会車業			118,160 千円
3	未	1	在 亲 立 地 突 励 並 争 来		所管課	商工課
	財源内訳	国県	fm 市債	壬四 その他	壬田 一般	} 118 160 壬四

市内へ企業立地を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、市内に工場または事業所を新設または増設する事業者に対して奨励金を交付する。

· I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	パ し く 入 勝 玉 と 入 日 ア る。	
種類	交付要件	内容
立地奨励金	工場等投下固定資本総額5,000万円以上	工場等の新設等に係る土地·家屋·償却資産に対する固定資産 税相当額を交付
雇用奨励金	↑工場等用地取得(借地)面積1,000㎡以上 建築延床面積200㎡以上	常時雇用居住者1人あたり:10万円(市内)/5万円(市外)を交付
環境整備奨励金	用地取得後3年以内に建設を着工 等	緑化及び緑地整備事業に要する費用の1/2以内を交付
工業用水道奨励金		工業用水道使用料の1/2相当額を交付

○企業立地奨励金交付実績

種類	件 数	交付金額(単位:千円)
立 地 奨 励 金	6件	112,630
雇用獎励金	1件	4,150
環 境 整 備 奨 励 金		
工業用水道奨励金	1件	1,380
合 計	8件(実企業数5件)	118,160

5

事	業名	名	女性活躍推進に向けた多様	決算額	9,513 千円		
#	未			女性伯庫用座に同じた多様	よ関ロル大気ず未	所管課	商工課
	財源内訳		国県	4,756 ←円 市債	千円 その他	千円 -	一般 4,757 千円

[主な事業内容と成果]

少子高齢化や人口減少を背景とした労働者不足の解消及びライフワークバランスの向上を図ることを目的に、子育てや在宅介護により働きたくても働けない女性などに対し新たな働き方として「クラウドソーシング」の活用を推進するためのセミナーを開催した。

○R3年度実績

- ・第1回:クラウドソーシング認知・導入セミナー(7/16)
- ・第2回:在宅ワーク入門・実践講座(8/26、27)
- ・個別フォローアップ(オンライン上での支援を実施)



【認知・導入セミナー】



【入門·実践講座】

講座	参加者				オンライン	当日欠席
	参加相	男	女	うち市内	参加者	ヨロ久乕
第1回	21人	2人	19人	19人	36人	6人
第2回	17人	2人	15人	11人	17人	10人

※新型コロナウイルスの影響で参加人数に制限を設けて実施。会場だけでなく、新たにオンラインでの参加も可能とした。

6

事	 業 名	,	TIIIターン部子促進す	t ж	決算額	320 千円
7	未	業 名 UIJターン就活促進事業				商工課
	財源内訳	国県	111 千円 市債	千円 その他	千円 一般	209 千円

[主な事業内容と成果]

地元企業の人材確保や定住と就職の促進を図るため、首都圏でのイベント参加や大学等への広報を行った。また、UIJ希望者が市内で面接を行う際の交通費を補助した。

○大学・支援機関への広報活動

県内及び首都圏等の大学や専門学校等および移住・交流情報ガーデン、ふるさと福島就職情報センターなど支援機関に対し、市内企業への就職活動に関する情報や交通費補助制度について周知を図った。

○交通費補助金(17件、168千円)

UIJターン希望者が市内で面接を行う際の交通費に対して補助金を交付した。

申請者居住地内訳

١	東京都	首都圏	東北	県内	その他	合計
	7人	4人	3人	1人	2人	17人

○LINEによる情報発信

UIJ就職に関する情報発信として、企業合同説明会の開催情報などを毎月発信した。 また、イベント情報なども合わせて発信した。



【LINEによる情報発信】

事	————— 業	Þ		若者Uターン・地元定着促進事業		決算額	7,932 千円
7	未	77				所管課	商工課
	財源内訳		国県	千円 市債	チ円 その他	4,030 千円 一般	3,902 千円

「主な事業内容と成果]

(一社)産業サポート白河に委託し、企業情報の収集・発信を行い、新規顧客の開拓や若者の地元企業への就職を促進した。また、29年度から県南8町村とも連携し、定住自立圏の枠組みで人材不足対策や人材育成支援を実施した。

○地元企業の人材不足対策

・企業データベース整備事業

「しらかわ企業データベース」により、しらかわ地域の企業情報を配信した。(登録企業数:277社) デジタルサイネージを白河実業高校・塙工業高校の他、新たに修明高校と光南高校に設置し、 新しい情報発信の模索を行った。(紹介動画企業数:18社1団体)

【白河実業高校デジタルサイネージ】

・インターンシップ受け入れ事業 相談員の企業訪問に同行するほか名刺交換の仕方などビジネスマナー要素を盛り込んで 実施した。(参加者数:2人)

○人材育成支援

製造現場で役立つスキル取得のため、新入社員や管理職を対象とした研修を開催した。(参加者数:計10人) また、小中学生がものづくりに親しみ、実社会で求められる能力・資質を育成するため、ものづくり体験事業やロボットプログラミング教室を開催した。

8

事	來	Þ		女性に客り添うライフ・ワークサポート事業		決算額	6,106	千円
7	事業	70		女性に可りがフノイン・ン・	一クリが一下事業	所管課	企画政策課	
	財源内訳	玉	1県	3,053 千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 3,0	53 千円

[主な事業内容と成果]

複合施設に導入する民間機能については、働きたいと考えているものの子育てによる ブランクにより就労に不安がある女性や、仕事と家事・育児との両立を目指す女性などを 対象とした就労支援に関する機能を検討しており、準備段階での実証実験として、ワーク ショップやセミナー、子育て支援団体との意見交換会を開催したほか、求職者・事業者そ れぞれを対象としたアンケート調査を実施した。

○女性に寄り添うライフ・ワークサポート業務委託料

6,106千円



【ワークショップの様子】



【子育て支援団体との意見交換の様子】



【セミナー開催のお知らせ】

車	業	Ø.	リノベーションまちづくり推進事業	決算額	3,385 千円	
 	事	70	<i>97</i> • \ _↓	ノコンより、ノハリ推進事業	所管課	まちづくり推進課
	11471万十二		団 月 1 CEO	士佳 ィッフのゆ	7.5	1 f/L 1.72.5 ⊀ H

[主な事業内容と成果]

空き家や空き店舗などの遊休不動産と地域資源を掛け合わせ、エリアの価値の向上につながる新たなビジネスを生み出すリノベーションまちづくりを推進するため、セミナーやワークショップを開催した。

○ セミナー「遊びと学びとまちづくり」

リノベーションまちづくりの実践者を講師に招き、地域やまちの再生につながるビジネスプランを学ぶセミナーを開催。

開催日 令和3年7月7日(水)

会 場 白河市立図書館りぶらん 地域交流会議室

大島 芳彦(㈱ブルースタジオ クリエイティブディレクター)

○ ワークショップ「まちづくり実践講座」

【セミナーの様子】

天神様エリアと新蔵エリアにある2つの実在物件を対象に、参加者がエリアの再生につながるビジネスプランを考え発表するワークショップを開催。

開 催 日 令和3年11月20日(土)・21日(日)

会 場 マイタウン白河

参加者数 ワークショップ 12人(6人×2ユニット)

公開プレゼン 41人(34人、オンライン7人)

東海林 諭宣(㈱See Visions 代表取締役)

佐藤 哲也(ヘルベチカデザイン㈱ 代表取締役)

【公開プレゼンテーションの様子】

			(単位:千円)
区分	事業費	財源	内訳
区况	尹未貝	国費	一般財源
業務委託料	3,300	1,650	1,650
印刷費	85		85
計	3,385	1,650	1,735

財源:地方創生推進交付金(1/2)

10

事	事業名 人・農地プラン作成事業		決算額 一	44 千円		
			所管課	農政課		
	財源内訳	国県	f用 市債	千円 その他	+H: -	般 44 千円

[主な事業内容と成果]

農業を取り巻く情勢は、高齢化や担い手不足、耕作放棄地の拡大など、地域農業を維持していくうえでの諸問題が顕在化している。こうした諸問題について地域で話し合い、農業・農地の未来像を明確にする「人・農地プラン」を作成することは、担い手への農地の集積・集約化を図ることが期待できる。

このため、令和3年度は、未作成の地域を対象にプランの作成を促し、11地域において作成した。 ※令和3年度末現在: 66集落中、完了21集落(策定率31.8%)

○消耗品費: 44千円

○令和3年度にプランを作成した集落

9 1 1 7 7 9 7 7	1 / / 4 - 1 - / 141 H
集落名	面積
大和田	28.7ha
大久保	35.3ha
白坂下黒川	34.0ha
小田川	74.7ha
田島	61.1ha
樋ノ口	14.6ha

集落名	面積
郷渡	52.8ha
十目市	19.3ha
日仙	33.1ha
宇原	23.0ha
大信中新城	62.4ha

合計 11集落 439.0ha

事	農業法人参入促進事業		決算額	85 千円		
7	未 1	1	辰亲伍八 多 八促进	農業法人参入促進事業		農政課
	財源内訳	国県	fm 市債	千円 その他	千円	一般 85 千円

[主な事業内容と成果]

地域農業を維持するためには、農業が抱えている課題(高齢化・担い手不足・耕作放棄地の増加)等を解消していく必要がある。 課題解消に向けた取り組みの一つとして、最先端技術や経営ノウハウを有した市外農業法人の参入促進を図ることは、地域の担い手となるばかりでなく、雇用の受け皿、栽培技術の提携、販路の共有など、地域農業への様々な波及効果が期待できる。

令和3年度は、五箇(双石)地区における㈱サラダボウルの計画事業の実現に向け、山梨県の高度化施設の視察及び協議を実施し、国庫補助事業の採択につなげた。

○㈱サラダボウル現地視察旅費 85千円

12

事	 業	Þ.		農地耕作条件改善事業			190,257	千円
7	未	名		長地耕作宋件以普爭未	所管課	農林整備課		
	財源内訳		国県	121,566 千円 市債	30,700 千円 その他	37,991 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

本市への農業進出を計画している農業法人のについて、地域雇用や栽培技術の提携や販路を共有することで、その効果を市内に波及させる必要があることから、市が事業主体となり農地造成を実施した。

年度	内容
R2年度	敷地造成工事(調整池工) 1式
R3年度	敷地造成工事(盛土工) A=4ha 水中ポンプ設置工事 N=2基 電柱移転 N=1式



【敷地造成工事の様子】

13

事 業 名		白河の七州が尹を待へ!部	農全力バックアップ事業	決算額	1,872 千円
		白河の大地が君を待つ!就農全力バックアップ事業		所管課	農政課
財源内訳	国県	447 千円 市債	千円 その他	千円	一般 1,425 千円
	財源内訳	財源内訳 国県	財源内訳 国県 447 千円 市債	財源内訳 国県 447 千円 市債 千円 その他	

[主な事業内容と成果]

新規就農及び移住・定住を促進するため、「就農フェア」へ出展した。また、就農相談体制を充実するため、相談専門員の賃金を支給した。

○支援活動状況

支援活動名	概要	実績		備考
新・農業人フェア (6月27日) (オンライン出展)	就農希望者を対象としたイベントへの 出展(東京都)	・出店者数・ブース来場者数	116団体 0人	
マイナビ就農FEST (8月21日) (オンライン出展)	就農希望者を対象としたイベントへの 出展(仙台市)	・出店者数・ブース来場者数	16団体 7人	
JOIN移住・交流&地域おこしフェ ア(10月2日)	就農希望者を対象としたイベントへの 出展(東京都)	・出店者数 ・ブース来場者数	199団体 26人	
	就農希望者を対象としたイベントへの 出展(福島市)	・出店者数 ・ブース来場者数	36団体 6人	

事業名		農業次世代人材投資事業			決算額	27,402 千円
1	未 1	7	長業		所管課	農政課
	財源内訳	国県	26,810 千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 592 千円

[主な事業内容と成果]

50歳未満の独立・自営農業者(認定新規就農者)に対し、経営が不安定な初期段階に最長5年にわたり、毎年150万円(夫婦は225万円)を限度として資金を補助した。

○ 補助実績

補助率 県 10/10補助件数 19件補助金額 26,746千円

15

事	事 業 名 がんばる新規就農者支援事業			決算額	5,989 千円	
7	未		2.40(よる利及処房在)	所管課	農政課	
	財源内訳	国県	fm 市債	千円 その他		

[主な事業内容と成果]

経営が不安定な就農初期段階において、安定的かつ計画的に営農に臨めるよう、青年等就農計画書等で経営規模目標を達成するために導入すると定めた施設、機械等の導入経費を支援し、新規就農者の定着を図った。

○ 補助実績

· 補助額 定額(1,500千円上限)

補助件数 4件

・補助金総額 5,989千円 ・ 導入した農業用機械等 パイプハウス、トンネルメッシュ、動力噴霧器、代掻きローダー、刈払機 ほか

16

事	業名	7	ディフカバリー白河典	テングカバルーロが一貫仕事業		
7	事 来 名 ノイベルバツーロ代展位争 		伯尹未	所管課	農政課	
	財源内訳	国県	14 千円 市債	千円 その他	千円	一般 15 千円

[主な事業内容と成果]

都市部から地方への移住や就農への関心が高まる中、新たな農業の担い手を確保するため、本市での就農のイメージをつかむための就農体験事業を実施するとともに、参加者に対し交通費や宿泊費の一部を支援した。

○ 補助実績

・補助額 交通費の1/2(上限20千円)、宿泊費(上限50千円)

補助件数 1件(2名)補助金総額 19千円協力農家報償 10千円(2名分)

17

事業		B	農畜産物6次化・ブランド化推進事業			6,561 千円
尹	未	7	展歯座物の状化・ノフン	`16推进争关	所管課	農政課
	財源内訳	国県	3,219 ←円 市債	千円 その他	千円 一般	3,342 千円

[主な事業内容と成果]



- ○「農産物ブランド白河しろもの」(委託料ほか 4,658千円)
 - ・新たな地域ブランドとして認証食品を募集・審査し、白金認証1、金認証17、銀認証6、計24品を認証した。
 - ・審査の過程において、市民アンケートによる認知度調査や試食による投票イベントを実施した。
 - ・のぼり旗やパンフレットを制作・配布したほか、テレビ番組やCM、SNSを活用し、ブランドや認証食品のPRを図った。
- アグリビジネス連携補助金 補助実績 (補助率 2/3)

事業	件数	補助実績額	内 容
新商品事業化推進事業	3	1,620千円	市内産農産物を使った新商品開発
新商品販路開拓等事業	1	220千円	市内産農産物を使った開発商品のパッケージ開発
計	4	1,840千円	

○ 定住自立圏構想関連事業(事務負担金 63千円)

Ⅱ 若い世代の活躍を支える

18

事	業	名		家庭訪問型子育て支援(ホー	ームスタート)事業	決算額	2,072	千円
	<i>></i> /<			为((e)) 内 (人及(V		所管課	こども支援課	
	財源内訳		国県	2,042 平 市債	fm その他	千円	一般	30 千円

[主な事業内容と成果]

ひきこもりがちな家庭や従来の子育て支援では対応できなかった家庭を対象に、児童虐待等の大きな問題に発展するのを未然に防ぐことを目的とした事業。

ボランティアであるホームビジターが未就学児のいる家庭を定期的に訪問し、保護者に寄り添いながら話を聴く傾聴や、家事・育児を一緒にすることなどにより信頼関係を築き、親自身の子育て意欲の向上と、親子が地域とつながるきっかけづくりの手助けを行った。

〈登録人数〉

(単位・人)

〈歳出決算内訳〉 (単位:千円)

(豆鸡/八数/		(手匹・八)
オーガナイザー	ホームビジター	合計
3	37	40

 事業内容
 事業費

 委託料
 2,072

オーガナイザー: 訪問活動をマネジメントする。 ホームビジター: 家庭を訪れるボランティア。 〈訪問実績〉

訪問家庭	訪問回数				
18家庭	延べ123回				

19

事	業	夂		型乙計開始道	事 术	決算額	3,465 千円
#	末	業 名 母子訪問指導事業		所管課	こども支援課		
	財源内訳		国県	1,562 平門 市債	千円 その他	千円 -	一般 1,903 千円

[主な事業内容と成果]

○こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの乳児のいる全家庭を保健師・助産師・看護師が訪問し、育児不安を抱える母親の相談に応じたほか、子育てに関する様々な情報を提供するなどの支援を行った。また、訪問未実施者については、来庁時に面接したほか、 里帰先で滞在している市町村に訪問を依頼するなどにより対応した。

(単位:人、件)
訪問対象者数	375
訪問乳児数	372
訪問実家庭数	370

○養育支援訪問事業

養育支援が特に必要と判断した家庭に対して保健師が訪問し、育児に関する指導・助言を行った。

	(単位:件)
訪問実家庭数	14
訪問延実家庭数	31

(単位・人)

○母子訪問指導事業

乳幼児健診や赤ちゃん訪問などで支援が必要と判断した家庭に対し、保健師が訪問し養育に関する指導・助言を行った。

				(-	P 154.757
対象	妊婦	産婦	乳児	幼児	その他
訪問者延数	9	414	83	164	178

20

事		Þ		決算額	45,362 千円		
7	未	和		姓连州使承衫宜 等	*未	所管課	こども支援課
	財源内訳		国県	1,190 ←円 市債	千円 その他	千円 -	一般 44,172 千円

[主な事業内容と成果]

○妊産婦健康診査事業

妊娠出産を支援するため、妊婦健診を15回(妊娠前期1回、妊娠後期1回、その他13回)、産後2週間健診・産後健診2回(産後2週間1回・産後1か月1回)の費用を助成し、異常の早期発見と保健指導を行った。

(単位:人)

健診時期	妊娠前期	妊娠後期	その他健診	産後	合計
受診者数	310	341	3,468	488	4,607

○新生児聴覚検査事業

検査受診者

聴覚障がいを早期に発見し、できるだけ早い段階で適切な療育が受けられるようにするため、検査費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

(単位:人) 324

○産後ケア事業

産後一年以内の母子に対し産後の疲労回復や、母乳育児不安等に対する様々な悩みの解消のため、福島県助産師会に委託し、 宿泊や日帰りで助産施設を利用する費用の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。

(単位:人)

種別	日帰りケア	宿泊ケア
件数		1

事			決算額	3,025 千円		
7	未	1	世子 便 康文援事業		所管課	こども支援課
	財源内訳	国県	367 壬円 市債	千円 その他	千円	一般 2.658 壬円

[主な事業内容と成果]

妊娠・出産・育児に関する総合的な相談や支援を提供する子育て世代包括支援センターにおいて、切れ目のない支援に努めた。

さらに、「親子の愛着形成」や「妊娠期からの子どものメディア依存の予防」、「生活リズムを整えることの重要性」の意識を醸成し、親の育児力アップと育児の負担感の軽減を図るため子育てスキルアップ事業を実施した。

わくわく子育て教室は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、講話 動画の配信を行った。

母子健康手帳交付数 314件 父子健康手帳交付数 174件

○育児支援事業 (単位:回、人)

	しらた人族チャ	(1座:四()()		
	教室名	実施回数	参加者数	
ſ	離乳食相談会	18	27	



【乳幼児健診時集団教育】

○子育てスキ	ルアップ事業
	/ v / / / TT / k'

(単位:回、	人)
· 1 1 · ·	/ •/

事業名	実施回数	参加者数
わくわく子育て教室	295(動画配信)	295
乳幼児健診時集団教育	68	1,468
園児保護者向講演会	2	100

22

事	業	7	子育て支援アプリ活用事業		決算額	39 千円
7	未 1	-	」月(又坂)ノガロ)	小ず未	所管課	こども支援課
	財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般 39 千円

[主な事業内容と成果]

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、平成27年度に独自の子育て支援アプリ「ぽっかぽか」を開発し、子育てに関する情報の提供を開始した。

令和3年度は、同アプリを適切に運用するとともに、母子健康手帳交付時等に、アプリの機能紹介を掲載したチラシを配布し、引き続き普及活動を行った。

〈歳出決算内訳〉	(単位:千円)
事業内容	事業費
需用費	39

〈利用実績〉

	マシ 4:31. コン 米4.	
	豆 琢有 釵	
		2 301 Å
		2,001)(

※令和4年3月末日現在



【広報チラシ】

23

車	事業名乳幼児健康診査事業	夕	決算額	5,763 千円		
7		所管課	こども支援課			
	財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 一	一般 5,763 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児の病気の予防と早期発見、健康の保持・増進及び子育て支援を目的に、月齢に合わせて健康診査を実施するとともに、未受診者には保健師が訪問し受診勧奨や発達の確認を行った。

さらに、ことばの遅れや発達の心配、育児不安等に対応して、言語聴覚士や臨床心理士による相談支援に努めた。

(単位:人)

(単位:人)

健診名	対象者数	実受診者数	延受診者数
4か月児健康診査	327	322	329
1歳児健康診査	359	351	351
1歳6か月児健康診査	365	364	364
2歳児健康診査	384	358	358
3歳児健康診査	399	393	393
合 計	1,834	1,788	1,795

		(単位:人)
事業名	実施回数	参加者数
ことばの相談	12	45
心理相談	36	71

[.	 事 業	夕				決算額	2,283 千円
	并 未	70		ファベル リかっトピン	ルードピング 一安 記事 榜	所管課	こども支援課
	財源内訳	玉	県	1,520 ←円 市債	千円 その他	千円	一般 763 千円

[主な事業内容と成果]

育児の援助が欲しい方(おねがい会員)と援助ができる方(まかせて会員)が会員となり、互いに助け合う事業。 小学校6年生までの子どもを養育している方を対象に保育園・幼稚園・児童クラブなどへの送迎、子どもの預かりなどを行うとともに、「まかせて会員」の養成のための講習会を開催した。

〈利用実績〉(単位:件)利用件数547

〈歳出決算内訳〉	(単位:千円)		
事業内容	事業費		
委託料	2,283		

ファミリーサポートセンター

登録人数							
おねがい会員	まかせて会員	両方会員	計				
169	48	1	218				
		V A 50	4左9日七日田左				

※令和4年3月末日現在

【ファミリーサポートセンター】

25

事	 業	友		*************************************	2域子育て支援拠点事業		12,497 千円
7	**************************************	和		地域丁月(又接換			こども支援課
	財源内訳		国県	8,330 千円 市債	千円 その他	千円	一般 4,167 千円

[主な事業内容と成果]

乳幼児とその保護者が気軽に集い、語り合い、交流する場を開設し、子育てについての相談、子育て情報の提供を行った。

〈利用実績〉 (単位:人)

施設	開催	利用人数			
/地 f文	回数	子ども	大人	計	
おひさまひろば(本町)	269	4,390	4,039	8,429	
おひさまひろば・セミナー	10	85	82	167	
大信子育て広場	83	670	444	1,114	
赤ちゃんひろば「はいはい」	23	306	305	611	
たんぽぽサロン(郭内)	133	833	613	1,446	
おでかけたんぽぽ(大沼)	87	777	601	1,378	
赤ちゃんひろば「ぽっぽ」	35	144	144	288	
合 計	640	7,205	6,228	13,433	

 〈歳出決算内訳〉
 (単位:千円)

 事業内容
 事業費





【おひさまひろば】



【たんぽぽサロン】

26

Ē	業	名		白河っ子すくすく赤ちゃんク	ーポン券支給事業	決算額 所管課	22,647 こども支援課	千円
	財源内訳		国県	fm 市債	千円 その他	千円		47 千円

[主な事業内容と成果]

未来を担う子どもの健やかな成長を願い、経済的負担を軽減することで安心して子育てができる環境を整えるため、紙おむつ等が購入できる年間3万円のクーポン券を、0歳児及び1歳児の保護者に交付した。また、クーポンを赤ちゃん訪問や1歳児健診時に交付することにより、健診の受診率が向上するとともに、子どもの成長過程における健康問題や、子育てに関する問題を把握することが出来た。

〈交付実績〉

● 0歳児(令和3年2月生まれ~令和4年1月生まれ)交付件数 391件 交付総額 11,422,500円

1歳児(令和2年3月生まれ~令和3年2月生まれ)交付件数 369件 交付総額 10,840,000円

計 760件 22,262,500円



【白河っ子すくすく赤ちゃんクーポン券】

〈歳出決算内訳〉	(単位:千円)
事業内容	事業費
需用費	440
扶助費	22,207
合計	22 647

事業	名	————————————————————— 保育士確保対策事	育士確保対策事業		900 千円
, NC		N/ 13 - T E N/ 13 / 1/ 3			こども育成課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般 900 千円

[主な事業内容と成果]

○保育士人材派遣紹介料補助事業

保育士の求人に対して一定期間応募がなく、保育士が不足しているため、受け入れができない又はその恐れがある場合において、有料職業紹介所等からの紹介により保育士を確保した際に支払う紹介料の一部を補助する。

○増築・新築に伴う保育士確保補助事業

待機児童解消のため、保育園・認定こども園の増築・新築を行い、開園準備のために事前に保育士を確保した場合に賃金の一部を補助する。

(単位:千円)

事業者名	事業費	事 業 別 内 訳			
尹 耒 有 石	尹 耒 賃	保育士人材派遣紹介料補助事業 増築・新築に伴う保育士確保		民育士確保補助事業	
学校法人 専念寺学園	600	600	2人		
白河市社会福祉協議会	300	300	1人		
合 計	900	900	3人		

28

Į	業	Þ		お	 放課後児童クラブ運営事業		143,594 千円
Ī	亲		所管課	こども育成課			
	財源内訳		国県	81,843 平門 市債	FFI その他	20,829 千円	一般 40,922 千円

[主な事業内容と成果]

市内全15小学校区に、16放課後児童クラブを開設し、保護者の就労などの理由により放課後留守家庭になる1年生から6年生までの児童を対象に、遊びと生活の場を提供した。

(単位:人)

クラブ名	登録者数	クラブ名	登録者数
白河第一小学校児童クラブ	89	みさか小学校児童クラブ	94
白河第二小学校児童クラブ	119	表郷小学校児童クラブ	89
白河第三小学校児童クラブ	123	小野田小学校児童クラブ	21
にこにこ児童クラブ		かまこ児童クラブ	63
おおぬま児童クラブ	50	信夫第一小学校児童クラブ	15
しらさか児童クラブ	39	信夫第二小学校児童クラブ	12
しらさかあったか児童クラブ	33	大屋小学校児童クラブ	18
こたがわ児童クラブ	41		
五箇小学校児童クラブ	11		
関辺小学校児童クラブ	35	合 計	852

※登録者数は令和3年4月1日現在

29

事	業名	:	病児保育事業		決算額	16,506 千円
7	* 未 1		初近休月爭未			こども育成課
	財源内訳	国県	6,446 千円 市債	千円 その他	3,507 千円	一般 6,553 千円

[主な事業内容と成果]

病気または回復期にある保育園等に通園している園児について、集団保育や家庭での保育ができない期間、一時的に預かり保護者の保育に対する負担軽減を図る。

(単位:千円)

事業名	内容	事業費		財物	泉内訳	
学 未石	ri d	ず未貝	国県	市債	その他	一般
病児保育事業	・光熱水費・手数料・警備委託料・運営委託料 など	16,506	6,446		3,507	6,553

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	9	11	16	24	16	15	14	16	19	19	18	24	201

事	事 業	夕		学校図書館利活用推進事業				34,780	千円
	尹 未	70		子仪凶音蹈利伯用和	王匹尹未	所管課		学校教育課	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般	34,78	30 千円

[主な事業内容と成果]

市立図書館を拠点とした学校司書の配置及び学校図書管理システムの導入は、令和元年度に市内全ての小中学校に完了した。学校司書の配置により、学校図書館を整備するとともに本の貸し出しを電子化した。

学校司書が学校図書館に存在することで、児童・生徒が本と出会い、読書をする環境づくりを推進し、児童・生徒が読書の楽しさを 実感できる機会を増やすことができた。学校司書を配置したことで、学校図書館が「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての機能を果たし、児童生徒の読書冊数が増加している。

(単位:千円)

事業内容	事業費
共済費•社会保険料	3,926
報酬•職員手当	25,018
旅費	0
需用費	3,331
使用料及び賃借料	2,094
備品購入費	411
合計	34,780



【学校司書による図書の紹介】

31

事	業	友		市立図書館管理運営事業			103,555 千円
7	争	70					図書館
	財源内訳		国県	fm 市債	千円 その他	千円 ・	一般 103,555 千円

[主な事業内容と成果]

市民や地域に期待される質の高い学びの場として資料・情報を提供し、学習、文化活動を中心とした多様な生涯学習を支える知の拠点、市民の交流の場として、図書館の管理運営を行った。

コロナ禍の影響で、令和2年度の入館者数は136,461人(1日平均約560人)と減少したが、令和3年度は、状況が落ち着いたことや、 館内の展示や広報などで館内利用や資料の貸し出しを促したことにより、来館者・貸出数ともに、コロナ禍前に戻りつつある。

○ 年間来館者数 191,268人 1日平均666.4人

○ 年間貸出利用冊数 523,644冊/点

○ 蔵書冊数 328,500冊/点 うち開架図書 216,482冊/点

32

事業	 業	Þ		英語指導助手招致事業				28,931	千円
7	术	冶	名 一种		所管課	学校	教育課		
	財源内訳	,	国県	千円 市債	チ円 その他	千円	一般	28,	931 千円

[主な事業内容と成果]

英語指導助手6人を配置して、中学校は学級数に応じて毎週1~3日、小学校は毎週1~2日の指導を行った。英語を母国語とする外国人の英語指導により、英語の学習への意欲が高まり、話すことや聞くことにおいて、学習を充実させることができた。また、中学校においては、英検を受検する生徒の指導や英語弁論大会に参加する生徒の指導にも貢献した。

(単位:千円)

事業内容	事業費
給料	21,199
共済費 社会保険料	3,496
需用費	423
役務費	9
使用料及び賃借料	2,219
備品購入費	58
負担金補助及び交付金	1,527
合 計	28,931



【英語指導助手による授業】

事	 業	夕		ICT教育環境整備事業(小学校)			19,192 千円
7	未	7-		101 教育泉境電偏爭素	(小子仪)	所管課	学校教育課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 一角	般 19,192 千円

[主な事業内容と成果]

国の令和2年度補正予算「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、生徒1人1台のタブレット端末の整備を行った。 市内小中学校におけるICT授業において、指導補助及びコンピュータ操作・ネットワーク環境に関する支援等を行い、ICT授業の指導を円滑に行うため支援員を4人から5人に拡充した。

平成30年度改正著作権法に基づく「授業目的公衆送信補償金」を支払うことで、資料のメール送信や講義映像の送信、リアルタイム配信授業等の公衆送信において、著作物利用を行うことができるようにした。

〈支出内訳〉

・ICT授業支援業務委託料 7,130 千円 小中学校計5名の支援員配置

・校務用ノートパソコン購入 10,265 千円

小学校64台配置

・授業目的公衆送信補償費 353 千円・消耗品費・修繕費 1,444 千円



【ICT教育環境の整備】

34

事	業	夕		ICT教育環境整備事業(中学校)				12,655	千円
7	未	70		101 教育環境電溫事業	(中子仪)	所管課		学校教育課	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般	12,6	655 千円

[主な事業内容と成果]

国の令和2年度補正予算「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、生徒1人1台のタブレット端末の整備を行った。 市内小中学校におけるICT授業において、指導補助及びコンピュータ操作・ネットワーク環境に関する支援等を行い、ICT授業の指導を円滑に行うため支援員を4人から5人に拡充した。

平成30年度改正著作権法に基づく「授業目的公衆送信補償金」を支払うことで、資料のメール送信や講義映像の送信、リアルタイム配信授業等の公衆送信において、著作物利用を行うことができるようにした。

〈支出内訳〉

・ICT授業支援業務委託料 3,803 千円

小中学校計5名の支援員配置・校務用ノートパソコン購入 7,729 千円

中学校46台配置

・授業目的公衆送信補償費 284 千円・消耗品費・修繕費 839 千円



【ICT教育環境の整備】

35

事	車	業	名		古典文学講座運営	事 茶	決算額		662 千円
	#				口典人于碑座里台	ず未	所管課	生涯学	習スポーツ課
		財源内訳		国県	fm 市債	千円 その他	千円	一般	662 千円

[主な事業内容と成果]

国文学、特に宮廷文化、建築や服装などの日本の文化や、紫式部の教養の高さが知れる重要な文学である「源氏物語」の原文を読み解きながら、市民の知的好奇心を高め、文学の良さを知る機会を提供した。

令和3年度 古典文学講座「源氏物語」

○回数:18回(新型コロナウイルス感染症対策のため、申込者を2回に分け開催)

○開催日:日曜日(32名)・月曜日(27名)

○場所:市役所、商工会議所、サンフレッシュ白河 ○講師:塚原明弘 先生【國學院大學兼任講師】



【源氏物語絵画】

プロフィール・・・1957年生まれ。1984年國學院大學大学院文学研究科博士課程(前期)修了。2005年博士(文学)。1981年から2021年3月まで東京都立高等学校に勤務。現在、國學院大學兼任講師(1995年から)。

単著『源氏物語ことばの連関』(おうふう・2004年)

事	 ¥	夕	 白河歴史教科書活用事業		決算額	1,702 千円	
=	 章 			口仍歷史教件責任	刀ず未	所管課	まちづくり推進課
	財源内訳	玉	国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般 1,702 千円

[主な事業内容と成果]

白河の歴史と伝統・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、白河歴史の手引き『れきしら』を増刷し、委託販売を行った。また、白河の魅力を再発見できるよう、『れきしら入門編・上級編』から問題を作成し、『第5回しらかわ検定』を実施した。

○白河歴史の手引き『れきしら』の増刷数

入門編 2,000部

○令和3年度 販売実績

入門編 135冊(累計2,940冊) 上級編 107冊(累計2,024冊) 合 計 242冊(累計4,964冊)

○第5回しらかわ検定

期日 令和3年11月7日(日)

受験者数 116人(3級/63人、2級/36人、1級/17人)

37

事業	g.	文化振興	・育成事業(新型コロナウ	ウイルス感染症対策事業)	決算額	998	千円
f 未	7	义16100兴	・自以事系(利空コロ))	/1///松朱延刈東事業/	所管課	文化振興課	
財源内訳	[国県	962 平 市債	千円 その他	36 千円	一般	千円

[主な事業内容と成果]

○ ランプシェード&コンサート開催事業

コロナ禍における文化振興事業として、「新たなライフスタイルの創出」や「文化芸術を活用したまちづくり」の推進のため、光と音楽による空間展示という新しい試みを行った。和紙ランプシェードの制作講座を開催するとともに、完成した作品を展示したホールでコンサートを開催した。

・ランプシェード制作講座参加者18人・ランプを灯すウィンターナイトコンサート来場者141人



【ウィンターナイトコンサート】

○ 映像制作講座開催事業

市民が自らSNSなどの非接触型のツールを活用して、白河をテーマにした映像作品を制作・発信する文化芸術活動を支援するため、YouTubeを使った映像制作講座を実施した。

•映像制作講座 受講者 20人

38

事	 業			決算額	12	26 千円		
7	术	격		人 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		所管課	文化振興	課
	財源内訳		国県	≠円 市債	千円 その他		一般	千円

[主な事業内容と成果]

ふるさと文化振興基金を活用し、本市の文化振興を図るため、文化活動を行う団体への支援として補助金を交付するとともに、全国大会等への出場者に対し激励金を支給した。

○ 補助金の実績

補助事業者	実施事業	補助額(円)
表郷レクリエーションクラブ	コロナに負けるな!レクダンス発表会&講習会	51,000

○ 激励金の実績

支給件数	内容	支給額(円)
激励金15件	書道、合唱、器楽	75,000

#	事 業 名 文化団体連合会運営事業		*	決算額	2,360 千円		
尹	未	泊		人化凹体連合宏連型	1 尹未	所管課	文化振興課
	財源内訳		国県	千円 市 倩	千円 その他	千円 ·	一般 2.360 千円

[主な事業内容と成果]

4地域での文化芸術の振興を図るため、加盟団体の活動成果発表及び市民の鑑賞機会を提供する下記の市民文化祭等を開催するための経費に対し補助金を交付した。

(1) 白河市文化団体連合会主催文化祭

行事内容	開催日	会 場	備考	参加人数等
第13回白河市民芸能大会	7月10日(土)	白河文化交流館 コミネス	〈出演団体〉 18団体	350人
第66回白河市総合美術展覧会	10月13日(水) ~17日(日)	マイタウン白河	<出品者数> 149人 <出品点数> 149点	800人

(2) 文化団体連絡協議会主催文化祭 等

(2) 又化団体連絡協議会主催又化祭 等							
主 催	行事内容	開催日	会 場	参加人数等			
白河文化団体連絡協議会	市民総合文化祭	8月~12月 (1件のみ2月)	マイタウン白河、誌上開催ほか	1,342人			
表郷文化団体連絡協議会	第34回春の文化展・ 第22回芸能まつり	6月12日(土) ~13日(日)	表郷公民館	92人			
衣仰又们凹 (P)	第64回表郷文化祭	11月2日(火) ~3日(水)	表郷公民館	146人			
大信文化団体連絡協議会	第44回大信地域文化祭	11月1日(月) ~3日(水)	大信公民館 大信庁舎大ホール	800人			
東文化団体連絡協議会	第50回 総合文化祭	11月1日(月) ~3日(水)	東体育館	503人			
水入112	芸能発表会	10月17日(日)	東文化センター	159人			

40

事	業	夕		したかわ立氷の奴	中	決算額		1,400 千円
3	未	7		しりかもノ目光り分	しらかわ音楽の祭典事業			文化振興課
	財源内訳	国	具	₹門 市債	千円 その他	千円	一般	1,400 千円

[主な事業内容と成果]

音楽文化の振興及び創造的・情操豊かな市民の育成、並びに音楽を通した世代間の交流を図ることを目的として、第25回しらかわ音楽の祭典を実施した。

○ 「第25回しらかわ音楽の祭典」 場所 白河文化交流館コミネス

> 期日 令和3年11月6日(土) 出演団体 26団体 800人 観客数 1,000人

【しらかわ音楽の祭典】

#	事 業 名 文化交流館管理運営事業		決算額	175,035 千円		
尹	来	1	文化交流與官座運呂-	文化交流館管理運営事業		文化振興課
	財源内訳	国県	于H 市債	手円 その他	4,496 千円 一弟	段 170,539 千円

[主な事業内容と成果]

白河文化交流館(コミネス)は、指定管理者特定非営利活動法人カルチャーネットワークが管理運営を行い、魅力ある各種事業等の開催や効率的な施設管理により、開館以来の来館者数は48万人、施設全体の稼働率は91%を超え、芸術文化の振興拠点として一定の成果をあげることができた。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、1事業を中止、2事業を翌年度に延期としたが、感染症対策を徹底して大部分の事業を実施した。

○ 事業の実績

事業名	開催日	入場者数ほか
フジコヘミング ピアノコンサート	R3.5.16(日)	1,074人
TUBEコンサート	R3.6.5(土)	509人
N響メンバーによるアウトリーチプレゼント事業	R3.6.23(水)~26(土)	市内小中学校10校 1,075人
山崎まさよしコンサート	R3.7.31(土)	660人
カギガタモール活用事業(「クラリネット&ピアノ」、「筝男」)	R3.7.22(木)、8.15(日)	82人
HIP-HOPダンスワークショップ	R3.7.31(土)~8.1(日)	49人
こどもフェスティバル「ARTで遊ぶ3日間」 ・HIP HOPダンス&音楽ライブ ・仙台フィル子どものためのミニコンサート ・絵本作家長谷川義史さんと遊ぼう ・大道芸パフォーマンス、パントマイム体験	R3.8.7(土)~9日(月)	コミネス、りぶらん 848人
ピアノ開放デー	R3.8.11(水)~13(金)	18組
白河まちなか音楽3Days2021 ・スチールパンオーケストラ ・東京文化会館チェンバーオーケストラ ・本條秀慈郎(三味線) ・尺八、馬頭琴ほか	R3.10.9(土)~11(月)	コミネス、マイタウン白 河、旧脇本陣蔵座敷、 市内寺院ほか 1,069人
白河まちなか音楽3Days Part2	R3.10.24(日)、11.3 (水)、11.6(土)	表郷·大信·東各会場 273人
東京混声合唱団	R3.12.12(目)	315人
コミネス混声合唱団クリスマスコンサート	R3.12.24(金)	200人
猫沢エミクリスマスライブ	R3.12.25(土)	547人
ダンス活性化事業	R3.12.3(金)~1.15(土) R3.1.16(日)	WS高校生9名参加 61人
しらかわ演劇塾支援 第6回公演「宝島」	R4.2.5(土)~6(日)	529人
秋川雅史コンサート	R4.3.12(土)	455人
さとうゆみパントマイム公演	R4.3.19(土)	178人
ハイスクール劇王	R4.3.26(土)	203人
白河市コミネス交響楽団活動	通年	団員97人



【N響アウトリーチプレゼント事業】



【絵本作家長谷川義史さんと遊ぼう】



【猫沢エミ クリスマスライブ】

42

耳		A.	重文化センター管理国	t 术	決算額	15,227 千円
17		業 名 東文化センター管理事業		所管課	文化振興課	
	財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 15,227 千円

[主な事業内容と成果]

白河市東文化センターは、指定管理者特定非営利活動法人カルチャーネットワークが管理運営を行い、専門的な知識や技術を生かして映画上映会や演劇ワークショップを開催するなど、施設利用者の増加を図りながら、コミネスと一体的に管理運営し、市の文化振興を図った。

○ 事業の実績

事業名	開催日	入場者数ほか
優秀映画鑑賞推進事業	R3.7.21(水)~22(木)	98人
こども映画上映会	R4.2.19(土)	44人
ひがし音楽フェスティバル	R4.2.6(日)	142人
演劇ワークショップ	R4.3.19(土)~21(月)	70人

T	 業	友	アートによる文化振興事業		決算額	2,741 千円
争	未	²	/一下による人16仮央争未	(央尹未	所管課	文化振興課
	財源内訳	国県	1,370 千円 市債	千円 その他	千円 一般	1,371 千円

[主な事業内容と成果]

文化芸術活動による人づくりやまちづくりを推進するため、芸術大学の学生を招致し、地域資源を活かした創作活動を行うアート事 業や、高校生を対象とした演劇の講習会の開催、劇団の滞在型活動を誘致し、創作の過程を公開するなど、芸術家や学生との交流 を図りながら、鑑賞や創作、発表の活動を行った。

- まちなかデザイン事業(委託先:東北芸術工科大学 会場:南湖公園)
- 9月19日(日)~20日(祝) ・「南湖写生大会」の開催 写生指導及び審査 大学教授2人 参加者:小中高校生11人
- 演劇活性化事業(委託先:しらかわ演劇塾 会場:東文化センター)
- ・「舞台をつくろう!夏の演劇講習会」の開催 7月16日(金)~18日(日)
 - 劇作家及び演出家等による指導及び成果発表会の開催参加者:高校生37人
- 【南湖写生大会】
- 演劇振興事業(委託先:カルチャーネットワーク 会場:東文化センター、釜子小学校)
- ・劇団青年座「横濱短編ホテル」の稽古の公開 11月15日(月)~20日(土) 稽古や演出の公開、通し稽古見学会、役者との交流会 来場者:160人
- ・演劇ワークショップの開催 11月22日(月) ファシリテーター4名による活動 参加者:釜子小学校5~6年生87人

Ⅲ 人と地域のつながりをつくる

44

車	茶	業名白河観光物産協会運営支援事業	丰 極車森	決算額	40,930 千円		
7	未	扣		口們観儿物座勋云連召	义饭	所管課	観光課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 一般	40.930 壬円

[主な事業内容と成果]

コロナ禍ではあったものの、観光客に対する観光案内や市内ボランティアガイド(ツーリズムガイド白河)の手配、電話対応による市内外の観光名所案内並びにパンフレット等の発送を行った。また、市や観光ボランティアガイド等と連携し、パンフレット等を有効活用した市内回遊の案内等も実施した。

○主な事業実績

- •観光案内所来客数 10,022人
- ・レンタサイクル稼動数 999件 クロスバイク稼働数 52件
- ・マスメディアの活用による観光情報の発信
- ・ホームページ、観光パンフレットの充実による魅力発信事業の実施
- ※ホームページ閲覧数 564,742件
- ・観光諸団体との連携及び調整
- ・観光ボランティアガイドとの連携

45

車	 業	名		広域観光推進事業(那須町)		決算額	3,200 千円
7	事					所管課	観光課
	財源内訳		国県	1,600 千円 市債	千円 その他	800 千円 一	一般 800 千円

[主な事業内容と成果]

「那須白河観光推進協議会」へ補助金を交付し、白河市と那須町の連携によって、両市町の特色である発酵食品をはじめ、雄大な自然や歴史、伝統文化、特産品など多様な地域資源を活用した事業を展開し、観光客の誘客及び両地域の周遊を図った。

○那須白河デジタルスタンプラリー

那須町・白河市にある発酵食品を取り扱う店舗などの対象スポットを巡るデジタルスタンプラリー。専用アプリを使い、集めたスタンプの数によって賞品が抽選でプレゼントした。

- •期間:令和3年10月29日~令和4年1月31日
- ・PR動画「那須・白河 女子旅de魅力発見!」:栃木県のご当地アイドル・ラヴィンズがデジタルスタンプラリーの対象スポットや観光施設などを巡る様子を4本作成した。
- ・参加者:83人(うち8割が福島県・栃木県在住者)

○那須白河観光ポスター

那須町と白河市の知名度アップ、イメージの向上及び観光客への周遊促進を図るため、両市町の魅力を広くPRするポスターを200枚制作し、掲出した。



【那須白河観光ポスター】

46

事業	4	サイクルツーリズム推進事業		決算額	376 千円
尹 未 2				所管課	観光課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般 376 千円

[主な事業内容と成果]

令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあり、首都圏でのPRイベントに参加するのではなく、既存のレンタサイクル事業の認知度向上を図ることを目的とした取組を行った。

○クーポン事業

- ・事業内容:レンタサイクル利用者に、クーポン券(300円分)を配布し、飲食店等の活性化を図った。
- ·事業期間:令和3年8月23日~令和3年11月30日
- •利用実績:378件(37,800円)

○WEB広告事業

- ・事業内容:レンタサイクル記事をWEB上で掲載することで情報発信を行った。
- ·掲載期間:令和3年6月1日~令和4年3月31日
- •掲載実績:閲覧数 1,848回、広告発信数 157,771回

○その他事業

- ・市内の狛犬を巡るサイクリングクエストの実施
- ・県内及び首都圏の女性へのSNS広告の発信
- ・レンタサイクルの貸出場所追加(イッテミッカ)

○レンタサイクル貸出事業

- •白河観光物産協会:999件
- ・東京第一ホテル新白河:139件



【チラシ兼クーポン】



密を避けながら気軽に楽しめる。レンタサイクルで周る 白河グルメ女子旅

【WEB記事】

決算額 千円 3,300 事 業 名|フィルム・コミッション事業(新型コロナウイルス感染症対策事業) 所管課 観光課 千円 その他 千円 市債 財源内訳 3,300 千円 千円

[主な事業内容と成果]

○ 事業内容

本市の魅力的な資源を活かし、映画やCMの撮影を誘致することにより、市のPRや撮影地として観 光客の誘客を図った。

「しらかわフィルムコミッション事業」としてダルライザープランニングに業務委託し、HPの運営や制 作会社へのPR、撮影支援、各許認可申請案内などを行った。

○ 成果

13件「藤波辰爾の歴史探訪」「日本発着!海外行った気リゾート」など TV番組

4件「99.9-刑事専門弁護士」「あの庭の扉をあけたとき」など 映画

7件 福島民報社「桜紀行」、㈱BBS企業CMなど WEB関係

その他 KFB「ふくしまCM大賞2021」出品、翠楽苑紅葉ライトアップ等撮影、

エキストラ登録(登録者数53人)、市の事業等への撮影機材の貸し出し

※撮影には至らなかったが、映画3件、TVドラマ1件、TV番組1件、CM4件、 ミュージックビデオ2件など、撮影候補地の提案や制作支援を行った。



【藤波辰爾の歴史探訪】



【表敬訪問する松坂慶子氏】



【一般企業のwebCM】

48

事	業	名		アジアンインバウンド	誘致事業	決算額 所管課	912 千円 観光課
						1 //1	HOLOUPK
	財源内訳		国県	千円 市債	チ円 その他	千円 一般	912 千円

[主な事業内容と成果]

アフターコロナを見据えた外国人観光客の誘客に向けて、「ふくしま県南観光推進協議会」が主体となり、台湾を中心としたアジア地 域に向けて魅力ある情報発信を図った。

○「台南市和風文化祭」への出展及びプロモーション活動事業

台湾の台南市で毎年開催されている日本の伝統文化を紹介するイベント「台南市和風文化 祭」に、白河だるまをはじめとした福島県内の伝統工芸品をとりまとめて出展した。また、福島の 震災復興の道のりやコロナ禍以前まで多くの観光客が訪れ台湾にも人気のある只見線につい ても郷土写真家・星賢孝氏の写真を用いてパネルを展示し、本県のPRを行った。

- •開催期間:令和3年9月18日~令和3年12月5日
- ・開幕式では、イベントの成功祈念と日台友好の印として白河だるまへの目入れが行われ

○モニターツアー事業

秋の紅葉シーズンである11月5~6日の2日間にわたり、国内在住の台湾出身者9名と旅行 代理店の担当者を招き、県南地域の観光地をバスで巡る「県南地域の魅力を探るモニターツ アー」を実施し、受入体制について外国人目線でのブラッシュアップを図った。



【台南市和風文化祭】





【モニターツアー】

49

事	f 安 夕		周刻4 块棒架双线	風評払拭情報発信事業		20,000 千円
Ī	事業名無無難無疑性。	章 未	所管課	観光課		
	財源内訳	国県	10,000 千円 市債	千円 その他	千円	一般 10,000 千円

[主な事業内容と成果]

原子力災害による風評払拭のため、「知ってもらう」、「食べてもらう」、「来てもらう」の3つの視点から、来県者が多く見込める1都3県 (東京、神奈川、千葉、埼玉)をターゲットに、本市さらには福島の認知を高めながら復興・再生を加速していくため、観光と併せて農産 物のおいしさや安全性に関する情報発信や特産品のプロモーションを実施した。

○事業概要

- ・読売新聞朝刊1都3県版(東京・神奈川・埼玉・千葉)に 15 段多色広告、朝刊全国版に小枠 広告を掲載
- ・新聞広告調査共通プラットフォーム「J-MONITOR」を活用した風評動向調査を実施
- ・タレントを起用し、観光地や食の安全性をPRする動画作成(15秒・30秒・2分・5分)
- ・15秒動画は約一ヶ月間、有楽町読売会館ビジョンで放映
- ・白河産コシヒカリと白河だるまを組み合わせた新しい商品「合格祈願米」を企画制作
- ・WEBランディングページ(観光・合格祈願米PRの2ページ)を制作
- ・読売新聞オンライン「よみぽランド」コーナーで、白河産コシヒカリに関するアンケート及び応募 者に白河産コシヒカリのプレゼント配布を実施
- ・都内最大級の受験相談会「よみうりGENKIフェスタ」で合格祈願米の販売会を実施
- ・各施策による情報接触者数

新聞=約435万人 WEB=約52万人 よみぽランド=2.6万人 計約489万人







【よみうりGENKIフェスタ】

事	 業	名	「福が満開	ーーーー 、福のしま。」ふくしま観光	ビキャンペーン推進事業	決算額	9,29	4 千円
7	未	70	「田の一側田	、偣のしま。」ふくしま観力	ムイイン・・・ン推進事業	所管課	観光課	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	8,116 千円	一般	1,178 千円

[主な事業内容と成果]

「ふくしま県南観光推進協議会」へ補助金を交付し、平成27年春に開催された「ふくしまデスティネーションキャンペーン」にて東日本大震災による観光風評被害の払拭と本地域への観光需要の喚起を図る取り組みをキャンペーン閉幕後も広域観光連携を持続させ、みちのくの玄関である本地域の特性を活かした観光誘客を図った。

○「狛犬のまち・しらかわ」PR事業

- ・モニターツアー:県南地域の狛犬と観光スポットを巡るツアー。令和3年11月6日に実施し、19人参加した。
- ・ハッシュタグキャンペーン:インスタグラム上のフォトコンテスト。
- ・狛犬カードの配布:県南地域の19種類の狛犬カードを1000枚ずつ作成し、商業施設や飲食店で無料又は有料配布した。
- ・プレミアム狛犬カード:小松美羽氏のデザインで、19種類の狛犬カードを集めた先着100人にプレゼントした。
- ・LPの作成

○しらかわエリアフォトコンテスト実施事業

県南地方で撮影された写真をInstagram上で募集し、1,000件以上の投稿があった。

- •募集期間:令和3年7月17日~10月31日
- •写真展:新白河駅、棚倉町立図書館
- ・フォトブック:1,000部作成





【 狛犬カード(表面)・(裏面)】

51

事	業	夂		南湖公園魅力発信	車茶	決算額	1,268 千円	7
1	未	冶		用你公园她//光语·	南湖公園魅力発信事業	所管課	観光課	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 1,268 千	戶円

[主な事業内容と成果]

南湖公園の魅力を発信し、誘客促進や地域活性化を目的に、地域住民と様々な事業を行った。 各事業が新聞やテレビ等に取り上げられたことにより、南湖公園の歴史なども効果的にPRできた。

- 南湖公園魅力発見ツアー(ウォーキングイベント) ※全2回(7月11日、11月14日)開催 「南湖十七景」と「南湖森林公園遊歩道」を巡るツアーを開催。計90人参加。
- 竹とうろう作り教室 ※全5回(6月27日、8月1日・22日、9月26日、10月31日)開催 南湖森林公園管理棟を活用し、竹灯籠作り教室を開催。計68人参加。
- 南湖公園竹灯籠ライトアップ ※12月3日~19日開催

冬期夜間の魅力創造のため南湖神社参道に200本以上の竹灯籠を設置。約5,000人来場。

- 渋沢栄一講演会 ※1月23日開催
 - 渋沢栄一記念館の館長補佐を迎え、渋沢栄一と松平定信との関係などを講演。120人参加。
- 新メニュー・南湖煮ぼうとうの開発 ※11月1日~3月31日提供 渋沢栄一が好んで食べた埼玉県深谷市の郷土料理をアレンジし、公園内の店舗にて提供。
- マンガ「渋沢栄一がやってきた!」の作成 渋沢栄一と松平定信との関係を広く伝えるため、漫画を作成し郷土愛の醸成を図った。 市内小中学生約5,000人、新成人約600人のほか、県内外に無料配布。



【 竹灯籠ライトアップ 】



【 渋沢栄一マンガ 】



【南湖煮ぼうとう】

事	 業	名		空き家対策事業	き家対策事業	決算額 所管課	ن	7,574 千円
							50	まちづくり推進課
	財源内訳		国県	515 千円 市債	チ円 その他	千円		7,059 千円

[主な事業内容と成果]

空家の利活用促進や発生抑制、特定空家化の防止を図るため、各種事業を実施した。

○空家バンク制度の運営

・(公社)福島県宅地建物取引業協会白河支部に加え、令和3年度に新たに協定を締結した(公社)全日本不動産協会福島県本部と連携し、空家の流通促進を図るため、空家バンクを運営した。

(令和3年度の実績)

物件登録数 15件(累計83件) 利用登録件数 41件(累計172件) 成約件数 9件(累計44件)

○空家改修等支援補助事業

・空家バンクに登録された物件の購入者や賃借者等が実施する改修に対する支援を行った。 令和3年度補助件数:5件(実績額6,216千円)

○空家解体費補助金

・良好で快適な生活環境の形成を図るため、解体費補助を通じて老朽空家の自主解体を促進した。 令和3年度補助件数:6件(実績額1,000千円)

○空家対策意識啓発チラシの作成

・空家の適正管理の周知や空家にしないための対策や管理、利活用など 空家に関する情報を掲載したチラシを固定資産税納税通知書に同封し、 市内に建物等を所有する方々に送付した。

○空家セミナーの開催

・専門家を講師に招き、主に空家所有者に向けて空家の現状や適正管理、 相続、利活用方法等についてのセミナーを開催した。

○空家相談会の開催

・空家に関する幅広い相談に専門家が答える総合的な相談会を開催した。



【空家相談会の開催】

53

車	業	名	移住	・定住推進事業(新型コロナウ	イルス感染症対策事業)	決算額	5,957	千円
7	尹 未	70	多丘	でには世事業(別生コロ))	1ルハ松朱延刈 東事業)	所管課	企画政策課	
	財源内訳		国県	5,867 千円 市債	千円 その他	千円	一般	90 千円

[主な事業内容と成果]

○引越支援事業補助金 5,957千円

県外から本市へ移住した方に対し、引越にかかる金銭面での負担を軽減するため、

引越費用の補助をおこなった。

·件数 42件

〔転入元内訳〕 東京都 13件、埼玉県 6件、神奈川県 5件、

栃木県 4件、宮城県 4件、その他 10件

•移住者数 98人



事	事 業	Þ.		移住•定住推進事美	<u></u>	決算額		12,738 千円
	尹	名		移任•定任推進事	世紀事末		1	企画政策課
	財源内訳		国県	4,647 千円 市債	千円 その他	千円	一般	8,091 千円

[主な事業内容と成果]

○ しらかわ移住魅力発信 7,975千円

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、首都圏で暮らす若い世代の間で も地方移住に対する関心が高まっていることから、都市部で活動するインフ ルエンサー(プロダクション人力舎所属のお笑い芸人「もぐら」の2人)を招聘 し、首都圏とのアクセスの良さや本市の暮らしやすさなどをYouTubeで発信し

・チャンネル登録者数 1,530人(R4年3月31日時点) •総再生回数 98,222回(R4年3月31日時点)



【 YouTubeチャンネル 】

○ 暮らし体験住宅の設置・運営 1,200千円

移住を検討している方が、本市での暮らしを実際に体験できるよう「暮らし体験住宅」を設置 し、運営した。

•場 所 白河市東下野出島字石原83番地

·利用料 7千円/週 (利用期間:1週間以上1カ月以内)

4組5人 (横浜市、韮崎市、さいたま市、相馬市) •利用者

•委託先 野出島地域活性化プロジェクト



【お試し住宅】

○ 白河市移住コーディネーターの設置 1,320千円

県の移住相談窓口を受託した実績を持つ(一社)未来の準備室に委託し、移住を検討している方の相談に対応するとともに移住支援 制度の案内をおこなった。また、移住・定住ポータルサイトに掲載する移住者インタビューや移住者のコミュニティ作りを支援するイベン トなどを開催した。

○ 白河市移住・定住ポータルサイト「おかえり、白河」保守管理 2,075千円 令和3年3月に開設した移住・定住ポータルサイト「おかえり、白河」の保守管理をおこなうとと もに、配信するエリアや年齢層を特定できるweb広告を活用し、首都圏で暮らす若い世代に対 し、ポータルサイトの周知を図った。



【 移住・定住ポータルサイト】

495 千円

まちづくり推進課

決算額

所管課

○ その他 168千円

名

移住関連イベント出展:132千円、移住・定住パンフレット増刷:36千円

業

事

55

財源内訳 国県 247 千円 市債 千円 その他 一般 248 千円 千円 -[主な事業内容と成果]

空き店舗を活用したまちなか再生支援事業

空き家・空き店舗に関する物件や各種支援制度等の情報を提供し、空き家・空き店舗の利活用促進につなげるため、専用のポータル サイトを作成した。 Libra

			(単位:十円)		空き家・空き店舗を利法
区分	事業費	財源	内訳	東ラス B3GU ボータルサイト	O TO THE OWNER OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER
四 刀	尹未貝	国費	一般財源	交き第一交き意味バンタとは?	
業務委託料	495	247	248	空き家パンク物件を指す	新糖情報 Fickup!
財源:地方創生推進交付	金(1/2)			(東京部内>クサラを探す	-RERG

【空き家空き店舗ポータルサイト】

車	業	Þ	「ひりょく	発信」二地域居住・移住希	·望者市営住宅提供事業	決算額	2,359 千円
7	未	70	「かりょく	光间」一地域冶江"沙江东	至有川西丘石灰供事果	所管課	建築住宅課
	財源内訳		国県	1.179 千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 1.180 千円

入居率の低い市営住宅の空き住戸を活用し、二地域居住や移住体験施設として市営住宅を提供した。

○ 対象者 市外(西白河郡及び東白川郡管内を除く)から、市内へ移住を検討している方又は市内での起業を検討している方。

○ 主な要件 ① 申請日時点で20歳以上59歳以下であること

② SNSで移住又は起業に向けた市内での活動及び白河地方の魅力について情報発信すること

③ 団地の自治会活動へ参加すること

○ 提供住戸 ・使用期間: 3か月 月額9,000 円 ※最長1年間まで延長可

·提供住宅: 関川窪市営住宅、外面市営住宅、石久保市営住宅

・室内設備:生活に最低限必要な家財等は市が備え付けます。(例:照明器具、エアコンなど)

○ 入居実績 4世帯6人

(単位:千円)

事業名	内容	事業費		財源	原内訳	
事未行 	门谷	争耒賃	国費	市債	その他	一般
「みりょく発信」二地域居住・移住希望者市営住宅提供事業	部屋修繕、器具賃借料	2,359	1,179			1,180

57

l _E		名		地域おこし協力隊沿	二田車業	決算額	10,520 千円
-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	右		地域やこじ勝力隊位	1刀ず未	所管課	企画政策課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 -	一般 10,520 千円

[主な事業内容と成果]

地域おこし協力隊とは、地域外の人材が隊員として一定期間地域内に居住しながら、地場商品の開発や農林業への従事、住民生活の支援などの「地域協力活動」を行うことで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度である。

令和3年度は3名(令和2年度より1名増員)の隊員が活動を行った。また、地域おこし協力隊人材発掘事業として、情報発信やイベントを開催し、地域おこし協力隊の募集を行った。

会計年度任用職員人件費	5,310 千円
活動補助金	3,232 千円
人材発掘事業委託料	1,912 千円
その他経費(旅費)	66 壬円

- 久野宏隊員(R2.4.1~) [主な活動]東地域振興
- ・コミュニティスペース「温室」運営
- キッチンカーによるイベント参加
- 飯塚俊輔隊員 (H30.7.1~R3.6.30) [主な活動]表郷地域振興
- ・情報発信(新聞、ブログ、ツイッター等)
- ・小中学校の学習支援(プログラミング体験等)
- 渡邉秀幸隊員(R3.7.1~) 〔主な活動〕移住アドバイザー
- ・SNSによる情報発信
- ・移住希望者の相談対応



【「温室」ワークショップの様子】



【渡邊隊員(移住アドバイザー)】



【募集イベントの開催】

事 業 名	,	広報白河発行事業			15,506 千円
争	1	四颗口的光门 子 。	表	所管課	秘書広報課
財源内訳	国県	千円 市債	千円 その他	6,332 千円	一般 9,174 千円

写真やイラストを効果的に活用し、広報紙に興味をもってもらうとともに、より読みやすく、分かりやすい紙面構成に努めた。 ○広報白河 5月1日号~4月1日号 23,400部(フルカラー)/月×12ケ月

≪特集記事≫

5月号 空き店舗を活用した地域の活性化を支援しています!

6月号 令和3年度 当初予算

7月号 白河市思いやり条例

8月号 白河市立地適正化計画

9月号 国史跡指定へ 天王山遺跡を紹介します!

10月号 サテライトオフィス&コワーキングスペース開設

La' CRÉATION PLUS~ラ・クリエイション プラス~

11月号 今井珠泉氏に名誉市民称号を贈呈

12月号 令和2年度決算の状況

1月号 令和4年始動 年頭のごあいさつ

2月号 しらかわ台湾交流物語

3月号 国道294号白河バイパス

4月号 令和4年度 施政方針



59

Ī	事 業 名		まちラボ学生プロジェクト	よりノ小子生ノロンエクト又仮事未	決算額 所管課	381 千円 企画政策課
	財源内訳	国県	190 千円 市債	チ円 その他	千円	一般 191 千円

[主な事業内容と成果]

本市には大学がないことから、大学生と地域の接点や、大学生と高校生の接点が少なく、若者の視点がまちづくりに活かされにくいという弱点がある。一方、本市には、歴史、文化、街なみ、農業、食などの地域資源が豊富に存在している。このことから、大学のゼミが本市を研究のフィールドとして活用する場合の旅費、滞在費等の経費の一部を補助することにより、市内での大学生の研究や活動を促進した。

○「素材広場・白河」ゼミ研究フィールド化事業 158千円

市内をフィールドに地域住民(高校生、町内会、NPO等)と交流を図りながら、研究等を行う。 [実績] 2件

獨協大学:高校生を対象とした白河市への愛着向上による Uターン者を増加させる事業 東京農業大学:"醸す"魅力の学習・発信を通じた地域の活性化

○学生まちなか活動支援事業 223千円

白河市の中心市街地を活動拠点とし、市民活動団体と連携しながら研究等を行う。

〔実績〕 1件

ShirakawaWeek実行委員会:白河學会2022(白河出身・白河ゆかりの大学生が自らの学びを発表し、白河地域の高校生が自らの活動を発表する「學会」の開催)



【獨協大学ゼミ生が作成した冊子】

60

事	 業	夂		高齢者見守り生活支援事業			5,209	千円
#	未	70		同即任允寸り生佔又接事未	所管課	高齢福祉課		
	財源内訳		国県	5,209 千円 市債	千円 その他	手円	─ → 根云	千円

[主な事業内容と成果]

移動販売車両により、外出やコミュニケーション活動を自粛している高齢者への支援として安否確認と買い物支援を実施。 定期的安否確認と買い物支援で「高齢者への楽しみの提供」や「孤立防止」につながっている。 ※前年度の「すまいる号」に加えて、「ちりんこ号」を追加するための費用。

(単位:千円)



		-	-3		
-	4	10	1	/-	ш,
	h	٧,	h	1.	\rightarrow

費目	事業費	備品
需用費	113	消耗品費
手数料	165	車両ラッピング
委託料	712	業務委託料
車両購入費	4,219	移動販売車両
合 計	5,209	

巡回場所	利用実績	備考
サロン	99回	サロン訪問回数
集会所等	5,914人	集会所等での 利用者数

Ē	- **	業 名 地域づくり活性化支援事業(白河地域)				決算額		1,058	千円
Įľ,	* 未	70		地域・ハリ伯性化文族事業(ロ何地域)	所管課	生	活防災課		
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般	1,0	058 千円

[主な事業内容と成果]

地域活力の向上を図るため、地域特性を活かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。 白河地域活性化協議会において審査会を開催し、3団体に対して814千円の補助金を交付した。

また、高校生の視点から地域の活性化及び問題解決を図るべく、自発的な取組みで、独自性のある事業に対して、白河地域活性化協議会等連絡調整会議において、審査会を開催し、3団体に対して244千円の補助金を交付した。

(単位:千円)

			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
地域	事業名	団 体 名	補助金
	五箇地区6次化商品開発推進事業	住みよい五箇をつくる会	500
白河地域	しらかわレクリエーションセミナー2020	しらかわレクリエーション協会	64
	五箇音頭再生プロジェクト	五箇音頭再生プロジェクト実行委員会	250
			814

区分	事業名	団 体 名	補助金
	白河旭書道パフォーマンス	白河旭高等学校総合文化部 書パフォチーム	100
高校生枠	手話カフェ「しゅわしゅわ」	チームしゅわしゅわ	48
	白河市立図書館学生利用者増加事業	高校生りぶらん活性化実行委員会	96
	合 計		244

62

	 事 業	夕		地域づくり活性化支援事	茶(実)	決算額	900) 千円
-	争	7		地域でいる。日本に文版寺	来(衣仰地域)	所管課	生活防災認	Į.
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円	一般	900 千円

[主な事業内容と成果]

地域活力の向上を図るため、地域特性を生かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。表郷地域活性化協議会において審査会を開催し、3団体に対して900千円の補助金を交付した。

(単位:千円)

	事業名	団 体 名	補助金
表郷地域		特定非営利活動法人 表郷ボランティアネットワーク	220
	天狗山を拠点とした地域づくり事業	おもてごう里山クラブ	480
	河東田花見山憩いの公園づくり事業	河東田花見山会	200
	合 計		900

63

車	———	業 名 地域づくり活性化支援事業(大信地域)				決算額	310 千円
7	术	70		地域・ブンソ位性化又仮争え	(八百地域)	所管課	生活防災課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 一角	投 310 千円

[主な事業内容と成果]

地域活力の向上を図るため、地域特性を生かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。 大信地域活性化協議会において審査会を開催し、1団体に対して310千円の補助金を交付した。

(単位:千円)

大信地域	事業名	団 体 名	補助金
八百地域	聖ヶ岩ふるさとの森「ホタル」再生事業	聖ヶ岩ふるさとの森を守る会	310
	合 計		310

64

事	**	業 名 地域づくり活性化支援事業(東地域)		· 茶 (車 朴 代)	決算額	631 千円	
7	**************************************	70		地域"プペリ位性化文族争業(果地域)		所管課	生活防災課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 一	一般 631 千円

[主な事業内容と成果]

地域活力の向上を図るため、地域特性を生かした市民の自発的な取組みで、独自性のある事業に対し補助金を交付した。 東地域活性化協議会において審査会を開催し、3団体に対して631千円の補助金を交付した。

(単位:千円)

			(井 広・ 11)
	事業名	団 体 名	補助金
東地域	釜子納涼盆踊り	釜子青年統一会	142
米地 坝	東地域桜プロジェクト	東地域桜プロジェクト	260
	きつねうちにぎわいプロジェクト	きつねうちにぎわいプロジェクト	229
	合 計		631

<u> 24 ページ</u>

事		Þ		すたづくり・てトレづくり)事業	決算額	7,560 千円
7	未	名		まりつくりいとうくり	/	所管課	企画政策課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	手円 ・	7,560 千円

○コミュニティ・スペース運営委託料 7,560千円(委託先:一般社団法人 未来の準備室)

将来を担う若者の考えや感性を積極的に地域づくりに取り入れるため、高校生をはじめとした多くの若者が集える場「コミュニティ・スペース」の運営を行った。

[地域探究活動支援]

地域探究活動を行う高校生と、地域内の人材や専門家とのマッチングを実施するとともに、近隣高校の地域探究授業を支援した。 また、高校生の地域活動について各種コンテストへの応募を支援し、「全国高校生マイプロジェクトアワード福島県summit」では、白河市在学・在住の高校生から13プロジェクトがエントリーされ、うち1プロジェクトが「全国高校生マイプロジェクトアワード全国summit」に進出し、最高賞である文部科学大臣賞を受賞した。

〔学習・キャリア形成支援〕

地域社会での経験が重要視される推薦入試やAO入試等を検討している学生に対して情報提供を行うとともに、福島大准教授による進学に関するセミナーの開催や、大学生による進路相談会などを実施した。

[各種イベントの開催]

- コミュニティ・スペースを活用し、若者や地域人材の交流を創出した。
- ・オンライン自習室
- ・地域住民との協働イベント(ワークショップ、alt_cafe等)他



【地域探求活動支援】

66

事	業	夕		 ふるさと納税関係	. 弗	決算額	25,240 千円
7	学	和		かるので、対抗性が	等	所管課	企画政策課
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円 一船	

[主な事業内容と成果]

「ふるさとしらかわガンバレ寄附金」(白河市ふるさと納税)として、下記の応援メニューに沿って寄附を受け付け、返礼品として、農産物ブランド産品、地酒、野菜、果物などを寄附金額に応じて贈呈している。

令和3年度は、ふるさと納税の募集にあたり、市や返礼品の魅力が伝わるよう、ふるさと納税ポータルサイトを全面的に改修した。さらに、返礼品を取り扱う新規登録事業者を増やすとともに、事業者を訪問し新しい返礼品を開発するなど、返礼品の充実を図った。

・ふるさと納税寄附者報償(返礼品)・その他経費11,741 千円13,499 千円

[参考: 寄附金実績内訳] (単位:件、千円)

[参与:时间亚天順门][[]	(平1)	7.IT, 1111
応援メニュー	件数	金額
小峰城清水門復元プロジェクト	793	13,968
本を心のオアシスにするまちづくり	413	6,214
未来のひとづくり応援事業	1,704	31,618
合 計	2,910	51,800



【そばパスタ】



【ゴルフ場利用券】

67

車 茶					決算額	48,895 千円
争業	7 D		後日旭以金州寺	未	所管課	企画政策課
財源内訳		国県	千円 市債	チ円 その他	47,500 千円	一般 1,395 千円

[主な事業内容と成果]

市民会館跡地に整備する複合施設について、実際の利用を想定した建物の配置、機能毎の諸室の面積とフロア構成等を検討し、平面図や立面図として取りまとめる基本設計のほか、測量業務、地質調査業務等に着手した。

基本設計については、可能な限り市民意見を反映させるため、有識者、各種団体の代表、公募委員で組織する検討委員会や関係団体ヒアリング、一般の方や 高校生による市民ワークショップを開催し、中間案を取りまとめた。



【中間案における外観イメージ】

○建築基本設計委託料○土木基本設計委託料○地質調査業務委託料○測量業務委託料○その他の経費20,640千円12,760千円12,130千円1,305千円





【基本設計検討委員会の様子】

【市民ワークショップの様子】

-	 事 業	夂			· 经弗	決算額		9,845	千円
ľ	尹 未	名 生活困窮者自立支援費		所管課		社会福祉課			
Ī	財源内訳		国県	4,669 千円 市債	千円 その他	57 千円	一般	5,1	119 千円

生活困窮者自立支援法(平成27年4月1日施行)に基づき、生活サポート相談窓口を設置して、相談支援員による生活困窮者の相談 を実施した。自立へ向けた支援プランを作成し、ハローワークと連携した就労活動のサポートの実施や家計の相談、離職により住居が ない、または住居を失うおそれのある者へ住宅費を支給した。

○自立相談支援事業

・相談員 主任相談支援員(就労支援員兼務)1人、相談支援員1人、家計相談支援員1人 計3人

•支援状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	16	10	19	8	10	10	8	13	8	4	10	6	122
プラン作成		1		1	2	2	1	1	1		1	2	12
就労者数		1				1		1			1	1	5

○住居確保給付金

•給付者数 2人 •給付金額 274千円

69

事	————— 業	夕		7/キ>オ N白 小士!	丞車 恭	決算額	10,807	千円
7	**	7				所管課	社会福祉課	
	財源内訳		国県	5,119 千円 市債	千円 その他	千円	一般 5	,688 千円

[主な事業内容と成果]

○ひきこもり相談支援センター運営業務及び就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業

ひきこもりに関する市の相談窓口として、民間委託によりワンストップ窓口「白河市ひきこもり相談支援センターTUNAG~つなぐ~」を 運営し、チラシの全戸配布等の周知広報に努めながら、電話やメール、来所や訪問による相談支援を実施し、関係機関と横断的な連 携を図ることにより、要支援者の掘り起こしや相談者が抱える悩みや問題に応じた適切な支援機関への案内・誘導を行った。また、主に 就職氷河期世代をターゲットにSNSによる相談支援の実施やオンライン居場所づくりとしてオープンチャットを開設した。

<事業概要>

○相談窓口: 白河市ひきこもり相談支援センター

TUNAG~つなぐ~

白河市中町18番地1 ○開設場所:

社会福祉法人優樹福祉会本部ビル3階

○対象年齢: 年齢制限なし ○開所日: 令和2年9月1日

○開設日時: 火曜日~土曜日(午前9時~午後6時)

○相談員: 2名体制 ○利用料金: 無料

○委託先: 社会福祉法人優樹福祉会

○委託料: 8,714千円 ○令和3年度相談実績

(1)相談件数

延べ951件(月あたり79.25件)

(2)相談方法

来所83件、電話405件、訪問277件、メール等186件

(3)相談者

本人355件、家族231件、関係機関336件、ほか55件

【相談があった対象者の属性】 (単位:延べ件数)

(単位:人)

THEOLY OF STORY	201 1 1 1 1 1 1	3177	1 12.0	11 25/17
年代	男性	女性	不明	合計
20歳未満	37	11	-	48
20~39歳	166	107	ı	273
40歳~59歳	460	6	ı	466
60歳以上	24	_	ı	24
不明	7	7	30	44
合計	694	131	30	855

○若者居場所づくり事業

ひきこもりやニートなど、他者とのコミュニケーションが苦手であったり、就労への意識が低かったりと、社会生活を営む上で困難を抱え る若者に対し、社会と個人をつなぐ居場所を提供し就労や進学など社会的な自立に向けた各種プログラムを行った。

26 ページ

(白河市ユースプレイス自立支援事業)

<事業概要>

○居場所名:

若者居場所づくり事業 ○事業名:

(白河市ユースプレイス自立支援事業) ユースプレイス県南

白河市高山西162-36 ○開設場所: 概ね15歳~39歳 ○対象年齢:

週3回(水、金、土曜日)、午後1時~5時 ○開設日時:

○利用料金: 無料

○委託先: アネシス学院株式会社

○委託料: 1,895千円

近隣町村は委託先と個別に契約 ○その他:

(西鄉村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、

塙町、石川町)

○令和3年度実績

(1)利用者の登録状況

•登録者数: 38人(うち男性12人、女性26人) 20人 (うち男性 5人、女性 15人) うち白河市:

•年齢: 最年少21歳、最年長46歳 うち白河市: 最年少24歳、最年長42歳

(2)居場所の開設状況

延べ191回 ・開催回数: ·利用者数: 延べ1,394人

(3) 実施した主なプログラム

個別相談、参加者交流、コミュニケーションスキルアップ の企画、就労意欲を高めるプログラム、ボランティアなど

事	 業	名			 			63,188	千円
7	未			地域生俗又拔爭	₹	所管課		社会福祉課	
	財源内訳		国県	24,501 千円 市債	チ円 その他	千円		38,	687 千円

障がいを持つ方が自立した社会生活や日常生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じて、相談支援や日常生 活用具、日中活動の場などを提供した。(国1/2 県1/4 予算の範囲内補助)

(単位:千円)

* * T	中米井		財源	京内訳	
事業内容	事業費	玉	県	その他	一般財源
基幹相談支援センター等機能強化事業	10,898				
成年後見制度利用支援事業	1,494				
意思 疎 通 支 援 事 業	214				
日 常 生 活 用 具 給 付 等 事 業	15,538				
手話奉仕員養成研修事業	0				
移 動 支 援 事 業	10,053	16,334	8,167		27,344
地域活動支援センター機能強化事業	4,645				
訪問入浴サービス事業	2,079				
日 中 一 時 支 援 事 業	6,347				
点字・声の広報等発行事業	517				
点字奉仕員養成研修事業	60				
相 談 支 援 事 業	8,383				8,383
主 治 医 意 見 書 手 数 料	637				637
区分認定調查委託料	952				952
白河地方広域市町村圏障害認定審査会分担金	562				562
過年度国庫支出金返納金	496				496
事務費はか	313				313
合 計	63,188	16,334	8,167		38,687

事	 業	夂		公民館活動事業	決算額	3,730	千円	
3	未	右		公氏明伯男爭未		所管課	中央公民館	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	千円	 3,	730 千円

[主な事業内容と成果]

中央・表郷・大信・東の各公民館では、新型コロナの感染防止に取り組みながら、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指

し、市民の声を反映した学習効果の高い講座・教室を開設するとともに、適切な運営を行った。 また、自主的な活動を行っている公民館利用クラブも感染防止に努めつつ、各公民館を拠点として、学び・集う輪を広げる活動を行いながら、生きがい創出に向けて積極的に活動した。

(単位:人、千円)

区分		教	室		公民館利用者数
区 刀	教室数	受講者数	延べ参加人数	事業費	公氏貼利用有級
中央公民館	25	446	2,654	2,349	27,314
表郷公民館	9	152	653	461	10,541
大信公民館	9	132	740	473	6,042
東 公民館	8	156	763	447	2,801
合 計	51	886	4,810	3,730	46,698

教室数の内訳

区 分	成人対象教室	青少年対象教室	高齢者対象教室
中央公民館	20	2	3
表郷公民館	7	1	1
大信公民館	7	0	2
東 公民館	6	1	1
合 計	40	4	7

事		名		禁煙応援プロジェクト事業		決算額 所管課	33 健康増進課	千円
	財源内訳		国県	22 千円 市債	千円 その他		一般	11 千円

[主な事業内容と成果]

禁煙への動機付けと受動喫煙防止の周知のため、健診結果説明会と3歳児健診の参加者のうち、希望する方にスパイロメーターによる「肺年齢」の測定を実施した。

種別	参加状況
結果説明会での禁煙相談	14回 20人
3歳児健診での禁煙相談	13回 60人

73

事	 業	名		フリムアッププロジー		決算額	164	千円
7	未				/ 一字未	所管課	健康増進課	
	財源内訳		国県	109 千円 市債	千円 その他	千円	<u> </u>	55 千円

[主な事業内容と成果]

18歳~74歳でBMI24以上の方を対象に、3か月間で3kgのダイエットに挑戦するチャレンジャーを募集し、希望者には、体組成測定を実施し、その結果に基づいた栄養・運動の個別指導を実施することで、効率的に減量できるように支援した。

○チャレンジャー人数

48人

○3か月で3kgのダイエット成功者

25人

74

事	業	当	へる塩プロジェクト	·事業	決算額 所管課	ß	610 千 建康増進課	円
	財源内訳	国県	272 千円 市債	手円 その他	千円	一般	338	千円

[主な事業内容と成果]

高血圧などの生活習慣病の発症や重症化予防のため、血圧高値の方や小学6年生を対象に尿検査による1日塩分摂取量の測定をすることで、減塩についての意識向上に努めた。さらに、高血圧予防の健康講話や減塩指導を実施し、減塩の普及を図った。

種別	対象者	参加状況
医師による高血圧予防講話及び塩分摂取量測定	特定健診受診者で血圧高値の方	4回 95人
へる塩チャレンジ相談会	塩分摂取量10g以上の方	2回 61人
6年生における塩分摂取量測定	小学6年生	499人
減塩教育	みさか小・白河四小・表郷小・信夫一 小の6年生	4回 168人

へる塩健康応援店の認定	減塩メニューの提供	4店舗
	減塩食品の販売	34店舗

75

4	 業	名		健康診査事業		決算額	80,985	千円
	<i></i>	Ţ		从水形五千 木		所管課	健康増進課	
	財源内訳		国県	4,604 千円 市債	千円 その他	千円		881 千円

[主な事業内容と成果]

市民の健康の保持増進を図るため、各種健(検)診を実施した。受診率向上のため、乳がん・子宮頸がん・大腸がん・肺がん検診の特定年齢対象者への無料クーポン券配布事業を継続、及び検診日程表を作成し全戸配布、広報紙や市ホームページへの掲載、乳幼児健診参加の保護者やコロナワクチン接種来場者への「がん予防」に関するパンフレットの配布など積極的に受診勧奨を実施した。

〈がん検診等受診者数〉

(単位:人、%)

区分	対象者	対象数	受診数	受診率
胃がん	40歳以上	18,911	3,265	17.3
肺がん(胸部)	40歳以上	18,911	5,953	31.5
肺がん(喀痰)	50歳以上で喫煙指数600以上		137	
大腸がん	40歳以上	18,911	5,736	30.3
前立腺がん	50から70歳の5歳刻み(男性)	2,098	234	11.2
子宮頸がん	20歳以上の隔年(女性)	13,080	1,947	26.4(隔年)
乳がん	40歳以上の隔年(女性)	11,312	1,762	28.5(隔年)
骨粗鬆症	40から70歳の5歳刻み(女性)	2,876	620	21.6
肝炎ウイルス	40から70歳の5歳刻み 20 八	-5 5,819	623	10.7

事	業	名		白河QOL向上プロジェクト事業		決算額 所管課	1,855 健康増進課	
							医炎血作	
	財源内訳		国県	千円 市債	千円 その他	1,591 千円	一般	264 千円

[主な事業内容と成果]

高齢者の健康状態やQOL(生活の質)の実態を調査し、分析することで、高齢者の健康課題の抽出と、その課題にあった保健指導方法の考案を行うため、高齢者の実態調査を開始した。

(調査対象者)

- ①令和2年7月1日現在,60~75歳の国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療被保険者(要介護3以上、施設入所者等は除く)
- ②令和3年7月1日現在、60歳の国民健康保険被保険者及び77歳以上の後期高齢者医療被保険者を追加
- ○上記の①②の継続参加同意者について、調査を実施。

(調査票の発送と回収) 令和3年10月~令和4年2月

- ○発送数 10,409通
- ○回収数 6,397通 (回収率 61.5%)
- ○有効回答数 6,107人 58.7%

(分析及び今後の予定)

○白河総合診療アカデミーと京都大学が共同で実施し、見えてきた課題について市民向けに発信、及び保健指導に活用していく。更に、同意が得られた方へは調査を継続していく。

77

Γ,	事 業	Æ.		健康ポイント事	健康ポイント事業		27,554 千円
	争	70		健康がイント争	术	所管課	健康増進課
	財源内訳		国県	15,288 千円 市債	千円 その他	1,647 千円 一角	般 10,619 千円

[主な事業内容と成果]

健康寿命の延伸を図り、より多くの市民が健康づくり活動に参加することを支援するため、(株)タニタヘルスリンクの「タニタ健康プログラム」を導入。18歳以上の市民を対象に、活動量計やスマートフォン専用アプリで健康ポイントを管理。各種健診の受診や、教室・講演会への参加、市内の「健康スポット」での血圧・体組成測定に健康ポイントを付与。獲得した健康ポイントに応じた特典(QUOカードか楽天ポイント。最大5,000円分)が得られる仕組みを構築、健康づくりに取り組む意欲の醸成と継続の支援を図った。

○参加者数 666人(男性:261人、女性:405人)

○ポイント交換者数

(単位:人)

O 1 1 1 7 4 D C H 79 4	(== - / • /
ポイント数	人 数
2,000	112
3,000	88
4,000	97
5,000	226
合 計	523

○ポイント交換内訳 (単位:件)

種 類	交換枚数
QUOカード	449
楽天ポイント	74
合 計	523